

企業内人権教育啓発誌

妙蓮

みょうれん

Vol. **40**
2025
1月発行



守山市企業内人権教育推進協議会シンボルマーク

守山市企業内人権教育推進協議会

編集発行人 藤澤 一弘

https://www.city.moriyama.lg.jp/sangyo_business/shoukougyou/

※ 第11回事業所内人権教育公正採用研修会報告

日時 令和6年8月30日(金)午後1時30分～午後3時

場所 守山商工会議所 201号室

参加者 54社60名(台風10号接近のため、オンライン研修のみ実施)

演題 公正採用選考と人権

講師 やまむら あきこ 山村 暁子さん(公益財団法人 滋賀県人権センター 副主幹)



諸外国と日本の『人権』の捉え方の違いや、採用選考時の配慮すべき質問事項を具体的、かつ、なぜその質問に問題があるのかをわかりやすくご教示くださいました。採用選考を実施する企業の社会的責任はもとより、個人の人権意識を再確認できる学びの場となりました。

アンケートより抜粋

- 自分は、差別を知らなければ差別はなくなると思っているタイプなので、改めて無知は、罪深いことであると思った。
- 採用選考時、事前に質問事項を決める必要があるなど思った。受けて側の感度があがっているの、気を付けていきたい。

※ 第47回事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会報告

日時 令和6年10月30日(水)午後1時30分～午後3時15分

場所 守山商工会議所 201号室

参加者 46社55名(オンライン参加者含む)

演題 特異人材活用のコツ・特異ストレスマネジメント

講師 ひろの 広野 ゆいさん(NPO法人DDAC発達障害をもつ大人の会 代表)



発達障害の種類と特性について学んだあと、特異ストレス対処法や、合理的配慮の考え方をご教示いただき、受講者自身の特性を知るチェックシートに点数をつけました。

講演終了後、『障害者』『障がい者』の言葉の扱い方の質問では、「当事者からするとどちらでもよい。」との明快な回答。表面的な取り繕いではなく、障害を持った人たちの強みや弱みに寄り添い関係を築きたいと感じた貴重な研修会でした。

アンケートより抜粋

- 我々採用する側にも「でこぼこ凸凹はある」、障害の有無に関わらず、“その人”に目を向けて接することは基本であると感じました。
- また、広野先生の講演が聞きたいです。

※ 現地視察研修会報告

日時 令和6年10月24日(木)午前9時10分～午後4時15分

研修先 午前 **やまなみ工房**(滋賀県甲賀市) 就労継続支援B型事業 障がい者多機能型事業所
午後 **かえで会館**(滋賀県甲賀市)
森 住職「ごんじょうじ厳浄寺での滋賀県水平社創立大会について」
フィールドワーク ごんじょうじ厳浄寺(滋賀県甲賀市)

参加者 8名 事務局2名

午前のやまなみ工房は、利用者一人一人が時間をかけて創り上げる制作物が、職員の支援で世界的な作品になっていく様子や、利用者と職員の関係性が、アートという形で表現されていると感じました。

午後は、滋賀県水平社発祥地の歴史として、厳しい差別を受けた背景や、人類平等をうたい、滋賀県水平社を結成するに至った話をさせていただきました。フィールドワークは、何度も自然被害により損害を受けたごんじょうじ厳浄寺に赴きました。



アンケートより抜粋

- 【やまなみ工房】●予想を超えた施設規模の大きさに驚いた。利用者のやる気に火をつける「何か」をさらに知りたいと思った。
- 【かえで会館・厳浄寺】●滋賀県水平社の歴史を聞き、見聞が広がりました。
- 森住職の話は、堅苦しくなく理解がしやすかった。

利用者のアート作品がチャリティ自動販売機に!



※ 人権学習の取り組み

● 株式会社 ウエーブ



株式会社ウエーブは1985年に創業し、現在は守山市に本社を置く印刷会社です。創業以来、お客様のニーズに対応すべく様々な新しい取り組みを行っており、近年主流となっているネット印刷の先駆けとしていち早くサービスを開始、多くのお客様にご愛顧いただいております。

現在は少子高齢化による労働力不足という社会のニーズ・困りごとに対処するため、印刷・加工業界初の生産工程自動化ソリューションを自社開発し、社内での活用はもちろんのこと、お客様のお役に立てばとそれらの販売も行っています。

社内では創業当初より従業員に向けた人権教育を進めてきました。管理職向け、一般職や新卒採用者向けなどの階層別に内容を絞り込んだ人権教育OFFJTの開催や社内イントラネットを利用した人権啓発資料の共有化など様々な形式で教育を推進、近年ではコンプライアンス教育として人権問題にも深くかかわるハラスメント防止に関する内容についてはしっかりと時間をとり複数回のOFFJTを開催いたしました。

今後も弊社は人権を尊重する高い意識を持った人材の育成を目指し教育・啓発活動を継続していきます。従業員の一人一人が社会人として大切な考え方をもって成長し、日々の業務に邁進する、そういった企業風土を守り、更に高めていきたいと考えています。

● トーヨーケム株式会社

トーヨーケム株式会社は、^{アーティエンス}artience（旧東洋インキ）グループに所属する会社で、コア技術であるポリマー合成や塗加工技術により、自動車やエレクトロニクス、エネルギー、メディカルといった分野で使われる様々な機能性製品を生み出しています。現在、守山工場は兵庫県尼崎市から拠点を移している途中で、移転完了は2027年を予定しています。守山工場はメディカル関連の生産拠点として、経皮吸収型製剤に特化した医療用医薬品を製造する工場です。

CDMO事業を展開しており、多くの製薬企業様と受託研究や受託製造を行っています。

医薬品を製造するメーカーは、必要な時に必要な医薬品を患者様に届ける社会的使命を担っています。また、医薬品は有効性及び安全性を確保することが必要不可欠であり、そのために薬機法（正式名称「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」）をはじめとする様々な厳しい法規制のもとで、開発や製造が進められます。

私たちも製造を担う工場として、製造に係わるひとり一人が医薬品を作っているという自覚と責任をもって、常にQCD（品質・生産性・安定供給）と安全衛生、環境保全といったモノづくりの基本を心掛けています。

^{アーティエンス}artienceグループでは、「人間尊重の経営」を掲げてあらゆる企業活動において人権の尊重を心掛けてすべてのステークホルダーに対して誠実に取り組むことに努めています。

人権啓発の取り組みとしては、各拠点毎に選任されたコンプライアンスリーダーが中心となって定期的にコンプライアンス研修を実施して、CSR経営を支える取り組みを継続しています。



トーヨーケム株式会社 守山工場

人権啓発DVD

NEW

*研修ワークシートあります

「ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見」

アンコンシャス・バイアス
職場のコミュニケーション向上のヒント

アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）は、誰もが持っている完全になくせるものではありません。「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず。」と意識してコミュニケーションを行うことが大切です。自覚なくハラスメントの加害者にならないために、職場のコミュニケーションを見直すきっかけに、お役立てください。



【制作2023年 上映時間24分】

「あなたの笑顔がくれたもの」

～周りから見えにくい障害・生きづらさ～

主人公の麻由子は、発達障害の幼馴染、身障者の友達、介護中の同僚、生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。話すことにより、麻由子の過去の境遇も明らかに…。外見で決めつけたりカテゴリーで判断したりせず、一人一人の人間として向き合うことの大切さをこのドラマを通して学びましょう。



【制作2022年 上映時間37分】

企業・事業所内での人権啓発に是非ご活用ください！

知って
おきたい!



人権KEY WORD

□の中に入る文字はなに？

①CSR
(Corporate
Responsibility)

企業の社会的責任

企業活動に対して、環境や次世代配慮などを実践し、利害関係者である顧客、従業員、株主、地域社会などに責任のある行動をし、説明責任を果たしていくことを求める考え方。

②SDGs
(Sustainable

Goals)

持続可能な開発目標

全ての人々が、一つしかないこの地球で「持続可能な世界」を実現するために、進むべき道を示したナビのようなもの。

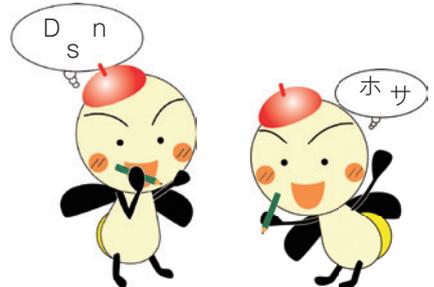
③ステークダー
利害関係者

企業の活動により影響を受ける、またはその可能性のある利害関係者（個人または集団）例として、取引先、グループ会社の従業員、労働組合、消費者、周辺住民、投資家、株主、金融機関、行政機関etc。

④チェーン
供給連鎖

原材料の調達から、在庫管理、物流、販売、消費者の手にわたるまでの一連の流れ。

何問、正解できたかな？



【登録①Social Development ②AFL ③AFL ④AFL】

事務局からのお知らせ

第39回トップセミナー

会場参加、オンライン参加どちらでもOKです。
みなさまのご参加をお待ちしています。

日時 令和7年2月26日(水) 午後1時30分～午後3時30分

場所 守山商工会議所 201号室

1部
講演会

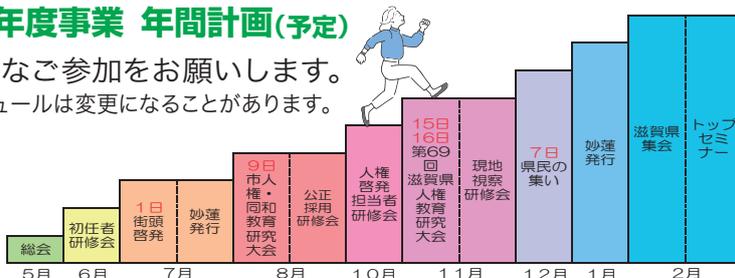
演題 「個人の幸せ・企業の成長のために！
～世代間の心理的安全性を高める上手なコミュニケーションを学ぶ～」
講師 しばもと まさあき さん (大阪企業人権協議会
企業人権協サポートセンター長 兼 特任講師)

2部
事例発表

女性活躍推進企業として厚生労働省より
「えるぼし認定」(3段階目)を取得
飲食サービス業のえるぼし認定は県内初
演題 「～令和発の企業が挑戦する最先端経営術～
女性が働きやすい職場づくり」
発表者 株式会社 総合近江牛商社
代表取締役社長 にし の たかおき さん 西野 立寛さん 他2名

令和7年度事業 年間計画(予定)

積極的なご参加をお願いします。
※スケジュールは変更になることがあります。



発行元 守山市企業内人権教育推進協議会 事務局：守山市役所 商工観光課内

TEL.077-582-1131 FAX.077-582-6947

✉ shokokanko@city.moriyama.lg.jp 〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号